

第1回浜田市総合振興計画審議会 会議録

日時 令和6年8月7日（水）

午後6時30分～午後7時50分

場所 浜田市役所（5階）全員協議会室

[進行／会長]

◆ 開会	
政策企画課長	それでは、定刻になりましたので只今から令和6年度第1回浜田市総合振興計画審議会を開催いたします。 本日は皆さまご多忙のところご出席いただきまして誠にありがとうございます。私は、本日進行いたします浜田市地域政策部政策企画課の岸本と申します。よろしくお願いいたします。 それでは開会にあたりまして当審議会会長の林会長からご挨拶をいただきたいと思います。
会長あいさつ	
会長	今年度第1回の浜田市総合振興計画審議会の開催にあたりまして一言ご挨拶を申し上げます。審議会委員の皆様には大変暑い中、またお忙しい中ご出席承りありがとうございます。審議会委員の皆様におかれましては、浜田市総合振興計画、浜田市まち・ひと・しごと創生総合戦略、そして定住自立圏共生ビジョンの策定から関わっていただき、進捗状況につきましてもご審議いただいているところでございます。 本日の審議会では、令和3年度に作成しました後期基本計画の2年度目となります令和5年度の進捗状況について伺うこととしております。後期基本計画では、7つの大綱に沿った具体的な施策に取り組むこととしておりますが、人口推計を上回るスピードで人口減少が進んでいる状況です。浜田市におかれましては、引き続き人口減少対策を最重要課題として掲げ、令和5年度から新たに若者支援ファンド事業を創設し、特に若者の人口減少に取り組んでいただくものとしております。また、昨年5月には新型コロナウイルス感染症の5類移行により、様々な方面で数年間できなかったり規模縮小を余儀なくされていた事業が実施されたり、新たな形で取組が行われています。 本日は、取組に対して忌憚のないご意見を頂戴したいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。
政策企画課長	会長ありがとうございました。 それでは、本日の会議の出席状況と配布資料の確認をさせていただきます。初めに委員の変更がございますので、ご紹介させていただきます。 ・浜田市教育委員会教育委員 杉野本 智幸 様 ・島根県農業協同組合いわみ中央地区本部営農経済部長 坂井 文幸様（欠席） ・一般社団法人浜田青年会議所理事長 飯島 健太郎 様 ・金城地域協議会委員 西田 修 様（欠席） ・弥栄地域協議会委員 久谷 義美 様（欠席） ・三隅地域協議会委員 木村 正典 様 ・石見ケーブルテレビジョン株式会社制作編成部制作課長 神田 恵生 様 任期は引き続きの皆様と同様令和7年3月31日までとなっておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

	また、引き続きの委員の皆さまにおかれましては、時間の都合上、事前にお送りしております名簿にてご紹介に代えさせていただきます。 続きまして、本日の出席状況ですが、出席委員は15名、欠席委員は9名となりまして、審議会条例で定めております浜田市総合振興計画審議会条例第5条第2項の規定によりまして、定足数が過半数となっておりますので、成立しておりますことをご報告いたします。 続きまして、配布資料の確認をさせていただきます。 事前に事務局の方から資料をお送りさせていただきましたが、皆さま、ご持参いただきましたでしょうか。また、本日追加で資料を配布させていただきます。 ・本日の会議のレジュメ ・委員名簿（裏面は出席者名簿） ・部門計画～一体的なまちづくり～ 修正分 一昨年度から実施しております会議の録画と限定での配信につきまして、本日も実施させていただいておりますので、ご承知おきください。 それでは、これより議事に移ります。議事の進行につきましては、林会長にお願いいたします。
(1) 総合振興計画及び定住自立圏共生ビジョンの進捗管理体制について	
会長	本審議会は、総合振興計画、定住自立圏共生ビジョン、まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗管理について審議することとしております。 本日は、「後期基本計画」、そして「定住自立圏共生ビジョン」の2年度目となります令和5年度の進捗状況についてご意見を伺うこととしております。 終了予定時刻は午後8時00分を予定としておりますが、委員の皆様の忌憚のないご意見をいただきますよう、よろしくお願いします。 それでは、議事を進めてまいります。 まず、議題（1）の「第2次浜田市総合振興計画後期基本計画の進捗管理体制について」、事務局から説明をお願いします。
政策企画課長	〔資料1〕に沿って説明 この審議会で出ました意見をもって、議会の報告を行う予定です。 各常任委員会にこれらの進捗管理の報告をしていく予定となっております。 議会、常任委員会においても様々なご意見を伺うこととなりますが、最終的な修正内容につきましては10月上旬頃を目途に審議会委員の皆様にご報告させていただきたいと考えております。
会長	説明ありがとうございます。委員の皆様からご質問がありましたらお願いします。 〔質疑なし〕
(2) 総合振興計画の進捗管理方法について	
会長	議題（2）の「第2次浜田市総合振興計画後期基本計画の進捗管理方法について」事務局から説明をお願いします。
政策企画課長	〔資料2〕に沿って説明 〔資料2〕は、総合振興計画後期基本計画の進捗をどのように行うのか、その方法についてまとめたものになります。主要施策の中で代表的な目標を設定して

	います。昨年度から大きく見直しをさせていただいておりまして、前期基本計画の A～E までの 5 段階評価から後期基本計画では A～C までの 3 段階評価とさせていただきます。 進捗評価がわかりにくいといったご意見に対応したものです。 詳細については後ほど説明をいたしますが、各年度で定めた目標値に対する達成値を算出しまして、A～C までの評価を行うこととさせていただきます。 詳しくは資料 2 の 3 ページに記載をしております。
会長	ありがとうございます。只今、ご説明いただきましたが、委員の皆様からご意見、ご質問等がありましたらお願いします。 〔質疑なし〕 後期基本計画の進捗評価の基準や達成率の計算方法について、このとおり進めていくものとします。
(3) 総合振興計画の進捗管理方法について	
会長	続きまして、議題(3)の「第 2 次浜田市総合振興計画後期基本計画の進捗評価について」及び議題(4)の「第 2 次浜田市総合振興計画後期基本計画及び浜田市定住自立圏共生ビジョンの進捗状況について」につきましては、内容が関連いたしますので、一括で説明をしていただき、皆様からのご意見、ご質問につきましては、議題ごとにお伺いしたいと思いますのでよろしくお願いします。 それでは、事務局から一括して説明をお願いします。
政策企画課長	ここからは、計画の具体的な中身に入ります。 浜田市総合振興計画後期基本計画の進捗評価について、資料 3 を元に説明いたします。参考資料として「浜田市の人口における社会増減の状況」も併せてお読みください。 〔資料 3 及び参考資料に沿って説明〕 人口については、第 2 次総合振興計画中の過去 8 年間で 2 番目に大きい人口減となりました。 出生数については、過去 8 年間で最小の出生数となりました。 原因としましては、新型コロナウイルス感染症による影響も少なからずあると思われますが、仕事と子育ての両立の難しさなど様々な要因が複雑に絡み合っているものと思われます。 資料 3 の 3 ページには施策の目標の達成状況を載せております。 具体的な取組の状況については資料 4 以降で説明をさせていただきます。
企画係長	政策企画課の羽部です。ここからは私が資料 4 から資料 7 を使って説明をさせていただきます。例年であれば、資料 5 の一覧でご説明をさせていただいておりますが、今年度については資料 4 で取組状況をまとめさせていただいておりますので、そちらを使って説明をさせていただきます。 〔資料 4 に沿って説明〕 資料 6 については、資料 5 から抜粋した項目になります。 資料 7 については、昨年度の目標値を達成した項目については、新たな目標値を理由とともに設定し見直しをしたものになります。
会長	それでは、議題 (3) の「第 2 次浜田市総合振興計画後期基本計画の進捗評価について」、ご質問やご意見をお伺いします。

	資料で言いますと「資料 3」の第 2 次浜田市総合振興計画後期基本計画の進捗評価ついて」となります。 ご質問やご意見があればお願いします。 〔質疑なし〕 今課題となっている、若い世代の人口の状況を踏まえて、何か施策がありますでしょうか。
政策企画課長	若い世代につきましては、高校を卒業して専門学校進学や社会人になり、浜田を離れる方がおられるのは仕方がないことだと思っています。 問題はしたら若い方が社会人を経て浜田に戻ってもらえる方が増えるかが問題だと考えています。総合振興計画に掲げる若者が暮らしたいまちづくり、浜田に戻ってもらえるかどうか、したら誇りや愛着を感じてもらえるかが課題だと思っています。 具体的な事例で言いますと、若者支援ファンド事業というものを設けています。39 歳以下の若者の起業支援や住まいの支援等を行っています。例えば、住宅取得の補助金は、若者であれば 20 万円上乘せがあります。これについては、令和 4 年度から始めた事業ですので、まだ具体的な成果としては表れてはいませんが、こういった事業を確実に進めていくことによって、“浜田に戻ってきたい”“引き続き暮らしたい”と思う若者が増えるのではと考えています。 出生数に関しましては、浜田で出会い・結婚・出産応援プログラムというものを設けておりまして、男女の出会いのところから、結婚、出産、子育てしていくという流れをトータルで応援していくプログラムを設けています。若者支援ファンド事業と出会い・結婚・出産応援プログラムの二本立てで地域貢献、社会増減数の維持を考えています。
会長	ありがとうございます。他にありますか。
奥野委員	参考資料の移動事由別のところで、令和 4 年度の不明欄が令和 5 年度の転出数が 3 から 86 に急に増えているのはなぜでしょうか。
企画係長	この調査につきましては、島根県から協力を得て行うものとなっており、移動事由については、実際に転入転出の窓口をする際に聞き取りを行っているわけですが、国の方でマイナポータルを活用した転入転出が可能になったことが背景にあります。これにより、国の方では一つ一つの移動事由までは把握する必要がないという考えがあり、入力が必要がない項目については島根県や浜田市でも把握できないということになります。 この制度につきましては、昨年度から始まりましたので、それが増えてしまった要因となります。
会長	ありがとうございます。他にありますか。
中島委員	要望になるかもしれませんが、先ほど課長の方から、社会増減の要因についてご説明いただきましたが、総括表の若者が暮らしやすいまちづくりという所は、もう少し加筆された方が分かりやすいのではないのでしょうか。
政策企画課長	先ほど口頭で申し上げたことに加えて、このあと行われる議会での報告でも同じようなことがあるかもしれませんので、加筆をしたいと思います。ありがとうございます。
会長	ありがとうございます。

岡山委員	若者支援ファンドを通じて若者支援をしておられると思いますが、先ほどあったように、実行している部門によってばらばらに支援していると思うので、それをまとめて昨年度どのくらい使われたかというようなものがあった方が分かりやすいのではないかと思います。
政策企画課長	若者支援ファンドについては、例えば資料 3 なり参考資料 1 の中でということでしょうか。
岡山委員	そうです。若者が暮らしたいまちづくりを具体的にどうやってというのが分かったほうが、いいのではないのでしょうか。
政策企画課長	これについては、委員のみなさんに分かりやすく情報提供できるか、考え方を注意して確認していきたいと思います。
会長	私もこれについて聞こうと思っていましたが、この場で端的で構いませんので、ご説明いただくことはできませんか。
政策企画課長	今資料を持ち合わせていませんので、事務局が取りに帰っています。また後ほど会議中にご説明させていただきます。
会長	それでは、他にありますか。
田中委員	資料 5 の P100 の結婚活動支援の充実というところで、男女の出会い創出事業や結婚新生活支援事業などいろいろなことが書かれていますが、女性が地方から出ていかれることが多い状況にありまして、これは狭い地域で周囲から結婚、出産と言われることがプレッシャーとなっていると聞いています。その辺りも踏まえた取組が必要ではないかと思います。若い人を確保するためには仕事を確保し、仕事の確保をすることで、産業創出や振興に努めていっていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。
地域政策部長	ありがとうございます。確かに結婚支援というのは、いろいろなイベントがありますが、今現在こういったイベントについては、県が主体となって行っており、ある程度の規模をもった上で開催をしております。若者への支援や企業を誘致するなど、総合振興計画の中でさまざま取り組んでいます。いただいたご意見を参考にさせていただき、今後取組を進めて参りたいと考えています。
(4) 総合振興計画の進捗管理方法について	
会長	議題(4)第2次浜田市総合振興計画後期基本計画及び浜田市定住自立圏共生ビジョンの進捗状況について 何かありますでしょうか。 なかなか情報量が多いですが、何かございますでしょうか。
田中委員	資料 5 の P19 中ほどに、新規漁業研修者数の増加とありますが、3 名ほど漁業に就かれたということですか。
産業経済部参事	はい。ここでは3 名の方が新規漁業研修生として就かれました。
田中委員	私がたまたま港の方にいたら、船が入ってきて若い船員さんがぞろぞろ降りてきて、結構若い船員さんが乗っておられると思いました。浜田は船員さんの給料が安いと聞いています。サバやサケなどの養殖事業を進めていくと収入が安定して、就労が安定してくのではないかと思います。養殖事業への取組は出てこないのでしょうか。
産業経済部参事	まず1 点目の若い新規漁業研修生のことですが、前回この事業が新卒から3 年以内の方を条件に事業を行っておりまして、今日この会議で資料を配らせておりますけれども、一部文言を訂正させていただいております。ここにありますように赤字で新規学卒者の数におきましては、対象要件である卒業後 3

	年以内を満たす採用ということで今まで行ってきましたので、今後のこの事業を活用していく上で、今後の展開のところで、29 歳以下の方に対象を広げるような形で今年度から実施をするようにしています。 それから 2 点目の養殖事業のことですが、市の方で全く取り組んでいないということではなくて、民間事業者さんに浜田市で養殖事業ができないかと研究事業で調査等を行っていただいております。具体的にどういった事業をというところには至っていませんが、可能性を含めて今後取り組んでいきたいと考えております。
田中委員	鳥取では陸上で養殖をする例も聞いたことがあります。 瀬戸が島エリアで可能性はないだろうか。 浜田の漁師さんの給料は境港市の漁師さんの半分だと聞いています。
産業経済部参事	陸上養殖については、先ほど言われました瀬戸が島エリアで可能性はないかということで調査させていただいて、残念ながら陸上養殖については難しいというような調査結果が出ている。そのあたりも含め、今後も調査していきたいと思う。それから、漁師さんの給料ですが、漁獲高、魚価が上がっていかないとそれに見合っとなかなか給料は上がっていかない。浜田市としても、そのあたりの改善につながるよう努めていきたい。
木村委員	水産業の振興というところで、特に 5 番 6 番のハード面での計画、おっしゃられたように、全体の水揚げ量が上がってこないのがずっと大きな問題だと思う。例えば県外船の誘致など。魚が揚がってこないからしょうがないというムードではなくて、漁獲量を増やすにはどういったことが考えられるのか焦点になる。
産業経済部参事	県外船の誘致ということはこの目標の中に掲げてはいませんが、浜田漁港での水揚げ高を上げていくために、取り組んでいかなければということで、下関や九州や隠岐のほうなどに誘致のお願いをさせていただいているところです。現実に隠岐の船団等も一部入ってきていただいていたおり、成果が分かる部分、また下関等取組をしていただけないというところで、課題等のお話をさせていただいているところです。今後課題の解決に向けては、どういった施策がいるのかという取組をしていきたいと思えます。ただ、全国的に魚種の変化があると言われていまして、どんちっちあじというブランドで販売をさせてもらっているアジが、ここ数年温暖化の影響なのか、原因は特定できていませんが、アジの漁獲が減っています。これは浜田市に限らず、全国の漁港で獲れる魚種が変化していると言われていいる。今後はそういった要因も含めて、漁業者と共に考えていく必要があると考えています。
会長	他にありますか。特に出てこないのであれば、資料 7 の代表的な目標の見直しについて何かありますでしょうか。
政策企画課長	総合振興計画の見直し前のところですが、目標を達成したからこれで終わりということではなくて、目標の上方修正を検討したものが水色のところになります。2024 年度の目標を新たに掲げて来年度の進捗評価に変更した後の目標を進捗管理していくということになります。皆さんがよいようでしたら、このとおり修正をさせていただきたいと考えています。 〔質疑なし〕

政策企画課長	(追加資料)の配布) 先ほど「若者が暮らしたいまちづくり」につながる取組として、若者支援ファンド事業について説明させていただきました。どれくらいの事業実績があるのか、中身はどういったものか、間に合わせ的な資料になりますが、説明をさせていただきます。 また、細かな文字がたくさん書いてある面をご覧ください。これは令和 5 年度に若者支援ファンド事業を始めたいと思いますということを議会に提案をした時の資料になります。事業の概要からですが、令和 4 年度に「地域の日」というのを実施して、浜田・金城・旭・弥栄・三隅の 5 つの地域に市長自ら出向きまして、地域の若者の皆さんに、どうしたら「若者が暮らしたいまちづくり」につながるような取組ができるかということ、若者に意見を伺いましたところ、資料にあります「起業」に対する支援が欲しいとか、「住まい」に対する支援が欲しいとか声がありましたので、そういったことを含めてそれぞれの担当部署に「若者支援対策」の事業提案を募りましたところ、主な内容と書いてある 1～10 番までの内容が出てきました。一つ一つの事業の説明は割愛させていただきますが、事業概要のところをご覧ください。大きなところで言いますと、1～4 番の「就業の支援」を 39 歳以下の若者であれば、漁業や就農であれば 30 万円、地域おこし協力隊であれば 50 万円、ということでこのように予算を設けました。 それから二つ目、起業家支援プロジェクト事業では、浜田市起業等支援補助金、浜田市創業者支援補助金、商業支援事業補助金という既存事業に対して若者であればこれだけ補助額を上乗せしましょうというものを設けました。 三つ目、「住まい」の補助金。これも若者からの声が多かったものです。若者が住宅を取得した場合に、何か応援してもらえたらなという声に答えて、若者住宅取得支援事業補助金というのを設けました。具体的に言いますと、これは今までなかった事業になりますが、若者が新築物件や、中古物件を購入した場合に、最大 40 万円の支援を実施するもので、昨年度は 80 件の予算枠のうち 60 件申請があり、約 2,100 万の支援実績があったところです。 住宅を取得された方だけではなく、浜田に帰って住宅を改修して住んでみようかという場合の住宅リフォーム助成金についても、若者であれば上乗せ補助が 20 万円ということで、昨年度は 4 名の方が利用されました。 それから、再生可能エネルギー導入支援事業というのがありますが、近頃再生可能エネルギーの声が高まっています。具体的に言えば太陽光パネルを設置したりだとか、蓄電池設備を設置したりだとか、木質バイオマスなどの設置だとか、こうしたものも若者であれば補助金額の上乗せを実施していこうという取組です。 最後 4 番の地域活動支援のところでは、市民協働活性化支援事業補助金や大学等高等教育機関と連携したまちづくり推進事業補助金というのがあります。これまでも、地域活動を行う上で今まで補助金など各種ありましたが、若者が一定の割合以上入っておられる団体におきましては、申請団体に対して補助金の上乗せを実施するというものです。令和 5 年度から、このような「若者支援ファンド事業」を新たに始めまして、令和 6 年度分の新規事業はここにはないですが、39 歳以下の若者の皆さんが同窓会をするときに、何か市から応援できないかということで、同窓会開催支援補助も始めました。同窓会の場で何かまた再びご縁ができて浜田市に住むきっかけができるかもしれない。こういった事業も今年度から開始しています。
--------	--

	まだこれらの事業を始めて 2 年目ですので、これから追加があるかもしれませんし、令和 8 年度以降も何らかの対策を考えていく必要があるかもしれません。こういった若者支援対策をそれぞれの部署で、少しずつ進めていきたいと考えております。長くなりましたが、「若者支援ファンド事業」についての説明は以上となります。
会長	ありがとうございました。先ほどまでで確認させていただいた内容で特にないようですので、今後の軽微な変更については、事務局と会長にまかせていただいてよろしいでしょうか。 〔異議なし〕 そうしますと、これから微修正があると思います。 もし何かお気づきの点がございましたら、お知らせいただけたらと思います。 修正した資料は 10 月上旬でしょうか。
政策企画課長	皆さんにご意見いただいて、修正させていただいたものを議会への報告資料とさせていただきます。 できれば今月中に会長に相談させていただいて、皆さまにご報告させていただければと思います。
会長	そのようにお願いします。 事務連絡を事務局からお願いします。
企画係長	レジュメには、第 2 回浜田市総合振興計画審議会を 9 月下旬としていますが、次回開催予定につきましては、9 月下旬から 10 月上旬までのところで協働のまちづくり検討部会からの報告が議題になると思いますが、そちらを開きたいと考えていますので、またご案内をさせていただきます。 また、今回から新たに委員として任命させていただいた方につきましては、委嘱状をお手元にお配りしていますのでご確認いただければと思います。 それから A4 半分の紙に本日の移動手段についてご記入をお願いします。わからない部分等ありましたらお尋ねください。帰られる際に事務局のほうにお渡しください。よろしくをお願いします。事務局からは以上となります。
会長	ありがとうございます。本日の予定は以上となります。 全体を通して何かございますか。
杉野本委員	タイミングがずれてしまい申し訳ございません。今、限界集落と言われている中で 20 年後、30 年後市の中に若い女性がどれだけその地域に残っているか、社会増減の中で同伴者の数が減少している。これは、働く世代の単身赴任で、夫が浜田に来ており、母親が子どもを連れて行きたくないというような状況ではないかと思う。若者が暮らしたいだけでなく、女性が暮らしたくなるようなまちづくりを今後視点として取り入れていく必要があるのではないかと思う。 男女共同参画という視点が必要だと思う。
会長	ありがとうございます。何かありますか。
地域政策部長	健康福祉部門の中で言いますと、資料 5 の P4 の子どもを安心して産み育てる環境づくりというのがあります。子育て支援というのは、ここに挙げている以上に細かく整理しています。産み育てることができるまちとして、今後も取り組んでいきます。冒頭で申し上げられました、消滅自治体ということで浜田市も挙げられていました。発表のあったところでは、若い女性の今後の見込みと

	いうところで判断している。この度浜田市は消滅自治体を脱しました。ただ、喜ぶような状況ではないと認識しています。若い女性に選んでいただけるような自治体に施策を広げていけるよう色々な取組を充実させていきたいと思ひます。
◆ 閉会	
会長	ありがとうございました。委員の皆様、或いは事務局から何かあればご発言ください。 〔質疑なし〕 それでは最後に、副市長よりご挨拶を頂戴したいと思います。 砂川副市長、お願いします。
副市長	最後に一言、挨拶いたします。本日は大変お忙しい中、長時間にわたり委員の皆様には貴重なご意見をありがとうございました。今日、事務局が説明しましたとおり、全国どこでもですが非常に人口減少が進んでいる。浜田市は、その中でも予想よりも早く減っているということで、危機感を持っているところでございます。特に出生数が非常に少なくなっていること。社会増減は、いろいろな施策がある程度ありますけれど、なかなか出生数は難しい状況です。先程からあるように特に若い女性に来ていただいて出会いの場に、なかなか婚活事業は周りを意識されて来にくいということで、最近はマッチングアプリ等も行っております。 先ほど、若者支援ファンド事業の説明で、同窓会の事業は、じつは遠回しに婚活事業、若い方が喜んでいらっしゃることでこの事業も新たに行っております。 そういった中で、こういう事業をやることでもう 1 つは働く場が必要ということで特に浜田の基幹産業である水産業等にも力を入れておりますが、なかなか厳しい状況です。 特に水産業、漁業で申し上げますと、立派な荷捌き所を造った訳ですが、魚を捕る船が増えていかないといけない。地元外の船に入っていただくのですが、漁場ができないと入ってこない。地元には新たな船を造っていただくということで沖合底曳きを 1 船団造っています。やはり船が新しくなると船員の居住環境が良くなったり、水揚げも上がっているようですので、そういう努力をしつつ、今、巻き網が 1 ケ続かないのでそれを増やす努力、また地元外のいろいろな誘致活動を行いつつ、何とか増やしていきたいと思ひます。 それから、養殖事業につきましてもマルハニチロさんと今も共同研究を行っております。 いずれにしても、しっかり皆さんの声を聴きながら、少しでも住みよい浜田を作っていきたいと思ひますのでこれからいろいろなご意見を頂ければと思ひます。よろしくお願ひいたします 本日はありがとうございました。
事務局	砂川副市長ありがとうございました。 以上をもちまして、令和 6 年度第 1 回浜田市総合振興計画審議会を終了いたします。皆様ありがとうございました。